



LUNCHTIME CONCERT

ランチタイムコンサート Vol.140

JUL. 2026

ヴィオラの大器、無伴奏に挑む

近衛 剛大

(ヴィオラ)

Program

J.S.バッハ:

シャコンヌ (無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ
第2番 ニ短調 BWV1004より)

ヒンデミット:

無伴奏ヴィオラ・ソナタ Op.11-5



Takehiro Konoe

7/27 2026
(月)

TOPPANホール

開演 12:15 開 場 11:45
終演予定 13:00

【発売】

5月28日(木)[会員:5月21日(木)]

【全席指定】1,500円

TOPPANホールクラブ ゴールド会員 2枚無料
レギュラー会員 1枚無料* 無料チケットは電話受付のみ。有料チケットの同時購入可。
* 有料チケットのWEB購入は一般発売後からとなります。

【お申し込み】

TOPPANホールチケットセンター 03-5840-2222
10:00~18:00 土日祝休TOPPANホールWEBチケット www.toppanhall.com

* ご利用には登録が必要です。

ヴィオラは、聴き方によってはとてもミステリアスで魅惑的な楽器だ。摩訶不思議なイメージを与えることも難くない。ところが近年は、上手さを前面に強く打ち出した表層的な演奏が増えすぎているか? 格段に演奏レベルがあがったことは間違いないのだが…。

そんな中で出会った近衛剛大のヴィオラは自然体なのに実に音楽性が豊か。加えて清潔感のある柔らかい音を持っている。風貌と相俟って、ヴィオラ特有のどこか神秘的な雰囲気や漂わせることもできるのではないかと感じてしまう。近衛は、24年春からはカラヤン・アカデミーに在籍し、ベルリン・フィルのステージでもよく見かけられるようになった。TOPPANホールと縁が深いニルス・メンケマイヤーにも個人的に師事し、さまざまな刺激を受けているという。この1、2年の間に生じた数々の出会いや経験が彼にどのような影響をもたらし、成長、変貌させたか…。彼の現在地を確かめるべく〈ランチタイムコンサート〉に出演を要請した。

熟慮の後に提案されたプログラムは、無伴奏2曲の直球勝負。彼の“いま”を知り、味わうにはまたとない機会となるだろう。

純度の高い若手ヴィオリストの気合の入った豪速球、ボールを受け止めるのはお客さま、あなたです。 プログラミング・ディレクター 西巻正史

【交通のご案内】

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、
大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
後楽園駅 地下鉄丸ノ内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
都営バス [上69][飯64][大曲]または「東五軒町」下車徒歩約3分

※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)
※やむを得ず、曲目などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。
※未就学児のご入場はお断りいたします。

TOPPANホール 〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3